

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

石狩湾新港管理組合

令和3年12月24日

石狩湾新港の国際競争力の強化を図る岸壁整備に着手

～石狩湾新港東地区国際物流ターミナル整備事業の着工式典を開催～

小樽開発建設部と石狩湾新港管理組合は、石狩湾新港東地区において、新しい岸壁工事に着手することから、下記のとおり着工式典を開催しますのでお知らせします。

石狩湾新港は、北海道の日本海側・石狩湾沿岸のほぼ中央に位置し、北海道経済の中心地である札幌市に最も近い港湾です。平成15年にはリサイクルポートの指定を受けており、リサイクル関連産業やエネルギー関連産業など、多数の企業が進出するとともに、設備投資など活発な企業活動が行われています。

しかし、鉄スクラップについては、輸出量の増加への対応に加え、水深不足により大型船が満載で入港できない状況であるとともに、バイオマス発電所が令和4年8月から稼働予定であり、発電燃料（木質ペレット、PKS）を公共岸壁で取り扱う見込みであることから、新たな貨物への対応が必要な状況にありました。この課題を解決するため、水深12m岸壁を新たに整備することとし、この度、本格的な工事に着手する運びとなりました。 ※事業の概要は、別紙をご参照ください。

記



- 1 日 時 令和4年1月22日（土） 13時30分～（1時間程度）
- 2 場 所 シャトラーゼ ガトーキングダム サッポロ 1階メルロ
(札幌市北区東茨戸132番地)
- 3 主 催 小樽開発建設部、石狩湾新港管理組合
- 4 その他 新型コロナウイルス感染症の感染状況や北海道の警戒ステージの段階等により、式典を中止させていただく場合がございます。

取材を希望される方は、事前に以下の問合せ先までお知らせ願います。また、取材に当たっては、新型コロナウイルス感染予防対策として、マスク着用、手指消毒等について、ご協力をお願いします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

小樽港湾事務所 計画課長 明石 卓弥 電話 0134-22-6131

築港課 課長 朝倉 邦友 電話 0134-23-5214

小樽開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>

石狩湾新港管理組合 総務部 総務グループ

参事（総務） 高橋 智昭 電話 0133-64-6661

石狩湾新港管理組合ホームページ <http://www.ishikari-bay-newport.jp/>



【事業の目的】

石狩湾新港東地区において、岸壁の整備、泊地の浚渫等により、貨物需要の増大に伴う船舶の増加や大型化に対応し、鉄スクラップ輸出の国際競争力の向上とともに、バイオマス燃料等の安定した取扱いを可能とし地域産業の振興を図る。

【事業の概要】

- 事業内容： [直轄] 岸壁(水深12m)、泊地(水深12m)、航路・泊地(水深12m)、港湾施設用地
[起債] ふ頭用地
- 事業期間： 令和3年度～令和8年度
- 総事業費： 92億円(うち港湾整備事業70億円)

【位置図】



貨物需要の増大に加え、岸壁水深が不足し満載での輸出ができず、非効率な輸送となっている。



水深が不足しているため、大型船は貨物を満載にすることができない

水深不足による喫水調整

石狩湾新港における鉄スクラップ輸出量の推移



出典:貿易統計より

貨物需要の増大

バイオマス発電燃料の輸入

バイオマス発電所 (2022年8月稼働予定)



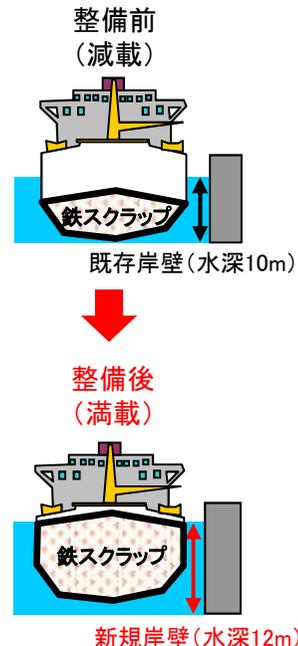
大型船舶による輸出入に対応した大水深岸壁(水深12m)等の整備を行うことにより、貨物取扱能力を増強し、国際競争力の強化を図ります。

【整備イメージ】

石狩湾新港東地区



【大水深岸壁の整備効果】



大型船(30,000DWT)による満載輸送が可能となる